

2026年1月4日(日)  
日本キリスト教団 久宝教会  
第68巻第38号(通算3475号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072  
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10  
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝:毎日曜10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝:毎日曜10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

# しゅうほう 週報

教会標語

ちい 小さくされている人を  
ひと 大切にする教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人がみな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

## 新年礼拝(降誕節 第2主日礼拝)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》	前奏(黙祷)	AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)
招きの詞	詩編	89編 12-13節
賛美歌	1945年版『讃美歌』411番「統べ治らす神よ」(©著作権消滅)	2章 41-52節
聖書	ルカによる福音書	
お祈り	『新生讃美歌』71番「年の始めは」(©日本バプテスト連盟)	牛田 匡 牧師
賛美歌	「作られた伝統」	牛田 匡 牧師
メッセージ	『聖公会聖歌集』476番「くらやみゆくときには」(©JASRAC)	牛田 匡 牧師
賛美歌	21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)	
聖餐		
共同のお祈りと、平和のあいさつ		
賛美歌	21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)	
主の祈り		
献げ物(*)		
派遣	アーメン コーラス(21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)	
祝福		
後奏	アーメン コーラス(21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)	
報告	(4頁をご参照ください)	

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 89 編 12–13 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>12</sup>天はあなたのもの、地もまたあなたのもの。

世界とそこに満ちるものは  
あなたが <sup>いしづえ</sup>礎 <sup>しづえ</sup>を築いたもの。

<sup>13</sup>北も南もあなたが創造された。

タボルもヘルモンもあなたの名を喜び歌います。

聖書 ルカによる福音書 2章 41–52節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>41</sup>さて、両親は毎年、過越祭にはエルサレムへ旅をした。<sup>42</sup>イエスが十二歳になった時も、両親は祭りの慣習に従って都に上った。<sup>43</sup>祭りの期間が終わって帰路に着いたとき、少年イエスはエルサレムに残っておられたが、両親はそれに気付かなかつた。<sup>44</sup>道連れの中にいるものと思い込んで、一日分の道のりを行つてしまい、それから、親類や知人の中を捜し回ったが、<sup>45</sup>見つからなかつたので、捜しながらエルサレムへ引き返した。<sup>46</sup>三日後にようやく、イエスが神殿の境内で教師たちの真ん中に座つて、話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。<sup>47</sup>聞いている人は皆、イエスの賢さとその受け答えに驚嘆 <sup>きょうたん</sup>していた。<sup>48</sup>両親はイエスを見て驚き、母が言った。「なぜ、こんなことをしてくれたのです。御覧なさい。お父さんも私も心配して捜していたのです。」<sup>49</sup>すると、イエスは言われた。「どうして私を捜したのですか。私が自分の <sup>a</sup>父の家にいるはずだということを、知らなかつたのですか。」<sup>50</sup>しかし、両親には、イエスの言葉の意味が分からなかつた。<sup>51</sup>それから、イエスは一緒に下くだって行き、ナザレに帰り、両親にお仕えになつた。母はこれらのことのみを心に留めていた。<sup>52</sup>イエスは神と人から恵みを受けて、知恵が増し、<sup>b</sup>背丈も伸びていった。

(脚注 a : 別訳「父に属する者たちの間にいる」「父の仕事に携わっている」、

b : 別訳「年齢を重ねていった」)



## 《先週のメッセージより》 2025年12月28日 歳末礼拝

### 「旅人からのプレゼント」

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 2章1-12節

今回のお話は、クリスマスに生まれた幼子イエス様を訪ねた「3人の博士」のお話でした。しかし、「博士」と訳されている言葉は、元来の意味は「星占いの占い師・呪術師」で、それは異邦人の忌むべき慣習として、律法で禁じられ（申18:10～12）、ひどく忌み嫌われていました。彼らは遠い東の国で、新しい星の輝き、珍しい星の運行を目の当たりにして、遠路はるばるユダヤまでやってきました。なぜ命懸けの旅をしたのかというと、それは彼らの経験上、全く見たことのないような星の輝きが見えたからだったでしょう。その星の方角に何があるのか、実際にやって確かめてみたい。そのような思いが彼らを突き動かしたのだろうと思います。そして彼らはまずヘロデ王を訪ね、メシアがベツレヘムに生まれることになっているという預言を聞いた後、ベツレヘムにて母マリアと共にいた幼子イエス様に会い、持ってきた黄金、乳香、没薬を贈りました（9-11）。それから「ヘロデのところへ帰るな」とのお告げを受けて、別の道を通って国へ帰って行きました（12）。

彼らは、イエス様と出会ったことで、それまでの星を頼りとする生き方、黄金や乳香や没薬という高価な金品を頼りとする生き方から変えられました。イエス様を探して旅をして、そして見つけ出し、出会うと、自分自身の生き方が変えられる。そしてそれまでとは別の道を歩むようになる。それは2000年前の占い師たちだけではなく、現代に生きる私たちにとっても同じでしょう。遠い東の国からやって来た旅人たちは献げ物をするために来たのでもなく、献げ物をしたから変えられたのでもありませんでした。むしろ新しい生き方、新しい自分をイエス様の方からプレゼントされて、それによって古い自分を脱ぎ捨てることができた。本当に大切なものは何か、考えを改めることができた。別の生き方、別の道へと歩み出せるように変えられたのだろうと思います。もうすぐ終わろうとしている今年、2025年の1年間を振り返り、私たちは何か新しい道へ歩み出せたでしょうか。脱ぎ捨てたい、もしくは捨て去りたい生き方は何かあったでしょうか。世界の各地で災害が起り、また戦争も止んでいません。そのような時代の中で、真理はどこにあるのか。神の言はどこにあるのか。新しい年を迎えるにあたって、これまで自分が頼りにしてきていたものにこだわるのではなく、神様が出会わせてくださる出会いを大切にしていく歩みへと、神様と共にあって導かれて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



## ◎先週の報告 2025年12月28日 歳末礼拝

礼拝出席 大人6人 献金 大人5,500円 中継視聴者数 24回 感謝

## ◎次週 2026年1月11日(日) 降誕節第3主日礼拝

招きの詞 詩編 36編 6-7節

聖書 出エジプト記 14章 10-31節

メッセージ「救いの経験」牛田匡牧師

賛美歌 21-312 (©編集委)、1954年版 529番 (©P.D.)、「風と歌う」(©JASRAC)

礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けしてお配りする予定です。



## ◎お知らせ

- これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- 本日、礼拝後に、1月期の「教会を考える会」を開催する予定です。
- 1月8日(木)9時半～11時半にかけて、いこいの家にて「聖書を読む会」を開催いたします。
- 1月15日(木)13時20分～15時にかけて、関西学院会館（兵庫県西宮市）にて公開講演会「当事者研究の誕生」が開催されます。講師は向谷地生良さん（社会福祉法人浦河べてるの家理事長）です。参加費は無料ですが、1月9日までに事前申込が必要です。

右のQRコードよりお申込みください。

- 1月12日(月・休)14時～16時半にかけて、東梅田教会にて、大阪教区在日韓国朝鮮人問題シンポジウム「敗戦80年・日韓基本条約60年 今、私たちの課題は」が開催されます。講師は金性済（キム・ソンジェ）牧師（日韓和解と平和プラットフォーム書記）です。参加費は無料で、事前の参加申込も不要です。どなたでもご参加ください。



## ◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/11	牛田匡牧師	おにぎり支援
1/18		教会堂での礼拝は休みです (YouTube配信のみ行います)
1/25	牛田匡牧師	誕生者祝福式 14時～河内地区女性会 (@枚岡教会)
2/1	牛田匡牧師	ユーカリスト・教会を考える会

第44回大阪教区在日韓国朝鮮人問題シンポジウム

### 敗戦80年・日韓基本条約60年 今、私たちの課題は

日時 2026.1.12 (月・休) 14:00～16:30

会場 日本基督教団東梅田教会  
〒530-0055 大阪府大阪市北区野崎町9-6

講師 キム・ソンジェ 金性済牧師  
日韓和解と平和プラットフォーム書記  
在日大韓基督教公認牧師

アピール 高己蓮さん  
朝鮮学校オモニ  
元大阪朝鮮中高級学校オモニ会長  
現在日本公立小中学校で民族講師として民族教育に取組む。

1952年、在日2・5歳（父1世、母2世）として大阪に生まれる。  
1977年、明治学院大学社会学部卒業。1982年、同志社大学大学院精神学研究科卒業。  
1983～1989年、在日大韓基督教公認牧師 岡山教会赴任  
1989～1996年、米国カリフォルニア・バークレーに所在する太平洋神学校に留学。統一indo、連合神学大学院にて旧約聖書学研究、Th.D.（神学博士号）取得（学位論文『ガール（寄留者）と古代イスラエルのアイデンティティ』1996年3月）  
1996年4月～2004年2月、在日大韓基督教公認牧師 川崎教会赴任。  
2004年4月～2017年12月、在日大韓基督教公認牧師 川崎教会赴任。  
2015年10月～2017年10月、在日大韓基督教公認牧師 名古屋教会赴任。  
2018年3月19日、日本キリスト教協議会第40回総会にて総幹事就任。2024年3月、第42回総会にて退任。  
現在は日韓和解と平和プラットフォーム（2020年7月2日発足）日本運営委員会書記として活動。

地図：JR淀屋橋駅周辺地図

[主催] 日本基督教団大阪教区 [実行委員会構成] 社会委員会、日韓宣教協約特別委員会  
TEL 06-6761-8562 キリスト教在日韓国朝鮮人問題活動センター